



出演者プロフィール・曲目（出演順）

① STEFAN WARZYCKI

課題曲 吉松 隆：《タビオラ幻影 Op.92》より「II.森のジーク」「III.水のパヴァーヌ」Takashi Yoshimatsu：‘II. Gigue of forest’ and ‘III. Pavane for water’ from “Tapiora Visions” for piano (left hand) Op.92

自由曲 ゴドフスキー：ショパンの練習曲ハ短調 Op. 10-12「革命」Godowsky：Study No 22 in C# minor on Chopin's Étude Op. 10-12 'Revolutionary'

略 歴 東京生まれ、アメリカで育ち。サンフランシスコ音楽院でピアノを学ぶ過程で、彼はAlfred BrendelとLeon Fleischerのマスタークラスに加わり、サンフランシスコ交響楽団で協奏曲デビュー。ジョン・アダムスと作曲も学ぶ。ヨーロッパをツアーし、ロンドンの有名な会場やアメリカ、日本、東南アジアでリサイタルとコンサートを行う。

左手で演奏する理由：右手に局所性ジストニア

② 兎嶋 顕一郎 (Ken-ichiro Kojima)

課題曲 吉松 隆：《タビオラ幻影 Op.92》より「II.森のジーク」「III.水のパヴァーヌ」Takashi Yoshimatsu：‘II. Gigue of forest’ and ‘III. Pavane for water’ from “Tapiora Visions” for piano (left hand) Op.92

自由曲 ヨハン・セバスチャン・バッハ：ガヴォット ホ長調（ヨゼフ・ヨゼフィ編）レオポルト・ゴドフスキ：死のエチュード ニ短調フランク・ブリッジ：3つの即興曲より 第2番“祈祷”Johann Sebastian Bach：Gavotte from Partita for Violine, in E-major, BWV1006（transcription for the left hand alone by Rafael Joseffy）

Leopold Godowski：Etude Macabre for the left hand alone, in D-minor

Frank Bridge：3 Improvisations No.2 “A Vigil”

略 歴 ピアノをハンブルク国立音楽演劇大学にてステパン・シモニャン、フィエーズレ音楽学校にてエリソ・ヴィルサラーゼに師事。現在、グラーツ国立音楽大学にて指揮をマルク・ピオレに師事。2012年 ピアナーレ・ピアノアカデミー3位、2013年 エリーゼ・マイヤーコンクール3位、仙台国際音楽コンクール聴衆賞、2017年 ICoM Piano Award 1位、ピーゴ国際ピアノコンクール3位。2019年、リヴォルノ国際ピアノコンクールでは第1位と2つの特別賞を受賞、ベルリン国際音楽コンクールにて銀メダルを受賞、そしてマンハッタン国際音楽コンクールではグランプリと併せてManhattan Artistsによるマネージメント賞を受賞。

左手で演奏する理由：2015年、右手の局所性ジストニア発症により右手の機能を失った際、音楽家としての危機を迎える。一時は病気の克服を目指すも、リハビリは困難を極めた。失意のどん底の中、左手のためのレパートリー開拓のための研究を始める。左手の為のレパートリーと共にその後もコンクールに挑戦、そして演奏活動を行う。その活動を映像作品としてショート・ドキュメンタリー「LEFT HAND」を発表。

③ 瀬川 泰代 (Yasuyo Segawa)

課題曲 吉松 隆：《タビオラ幻影 Op.92》より「II.森のジーク」「III.水のパヴァーヌ」Takashi Yoshimatsu：‘II. Gigue of forest’ and ‘III. Pavane for water’ from “Tapiora Visions” for piano (left hand) Op.92

自由曲 G.ドニゼッティ作曲／T.レシェティツキ編曲：オペラ《ランメルモールのルチア》より 「アンダンテ・フィナーレ」Op.13G.Donizetti / T.Leschetizky：Andante finale de 'Lucia di Lammermoor' D-flat major, Op.13

略 歴 広島県出身、オーストリア・グラーツ在住。エリザベト音楽大学卒業。グラーツ芸術大学大学院（オーストリア）在籍。2010年より左手のピアニストとしての道を歩み始める。以降、演奏活動・国際コンクール受験は全て左手演奏のみでの取り組みである。2017年 City of Vigo国際ピアノコンクール2位（スペ

イン）、2018年 Val Tidone国際コンクールSilvio Bengalli 4位（イタリア）Nuova Coppa Pianisti国際コンクール 3位、現代音楽賞（イタリア）、2019年 Primavera Pianisticaコンクール2位（ベルギー）など12の国際コンクールで入賞。広島交響楽団、ルーマニア国立バカウ交響楽団と共演、エヴメリア国際音楽祭（ギリシャ）に招かれるなど、これまでに13ヶ国で演奏活動を展開。

左手で演奏する理由：高校3年17歳の夏に右手指に局所性ジストニアを発症し、大学在学中は左手のピアノ曲を学びながらも将来の道を悩んでいたが、大学3年春に左手のピアニストのコンサートで演奏を聴き、奏でる音楽が心に響き、感動。左手のピアニストの活動に希望をもらったことが、大きな転機となった。左手のピアノ曲を専門に勉強したい、左手のピアノ曲の魅力を多くの方に伝えることのできる左手のピアニストになりたいと願うようになった。

④ 月足 さおり (Saori Tsukiashi)

課題曲 吉松 隆：《アイノラ抒情曲集 Op.95》より「II.アラベスク」「V.モーツァルティーン」Takashi Yoshimatsu：‘II. Arabesque’ and ‘V. Morzatinò’ from "Ainola Lyrical Ballads" for piano (left hand) Op.95

自由曲 ヴェリ・クヤラ：レフトハンダンシズ III Veli Kujala：Lefthandances III

略 歴 昭和音楽大学ディプロマユース卒業（首席卒業）。第3回ウィーン国際障害者ピアノフェスティバル金賞、熊本県知事表彰。あさぎり町民荣誉賞。

左手で演奏する理由：脊髄病のため2013年頃より右半身に麻痺がでる。現在は右半身完全麻痺。

⑤ 黒崎 菜保子 (Nahoko Kurosaki)

課題曲 吉松 隆：《アイノラ抒情曲集 Op.95》より「II.アラベスク」「V.モーツァルティーン」Takashi Yoshimatsu：‘II. Arabesque’ and ‘V. Morzatinò’ from "Ainola Lyrical Ballads" for piano (left hand) Op.95

自由曲 ブルーメンフェルト：左手のための練習曲 変イ長調 Op. 36 Felix Blumenfeld：Etude for the left hand in A-Flat Major, Op. 36

略 歴 大阪音楽大学器楽学部ピアノ科卒業。ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院 夏期国際アカデミーに参加。1990年 石川県にてソロリサイタル開催。ソロ、合唱伴奏、室内楽等演奏活動を行っていた。現在金城大学短大非常勤講師。西出晴子、横山幸雄の各氏に師事。

左手で演奏する理由：20年程前から右中指が思うようにコントロールできなくなり、徐々に手首のコントロールも難しくなり、両手での演奏活動が困難になった。

⑥ 樋上 眞生 (Mao Hinoue)

課題曲 吉松 隆：《アイノラ抒情曲集 Op.95》より「II.アラベスク」「V.モーツァルティーン」Takashi Yoshimatsu：‘II. Arabesque’ and ‘V. Morzatinò’ from "Ainola Lyrical Ballads" for piano (left hand) Op.95

自由曲 ラフマニノフ作曲／樋上眞生編曲：右手のためのエレジー（原曲Op. 3-1）Rakhmaninov / Mao Hinoue：“Elegie" for the right hand (original song Op. 3-1)

略 歴 第20回宝塚ベガ音楽コンクール第2位、併せて会場審査員特別賞受。第8回堺国際ピアノコンクール第1位。第13回日本ピアノコンクール銀賞。2013年度、日本芸術センター年間最優秀ピアニスト。右手のピアニストとして、2016年より毎年リサイタルを開催。右手のみで収録したCD「源氏幻想」をリリース。

右手で演奏する理由：左手示指にフォーカルジストニアを発症し、演奏上自由に左手を操ることが困難になった。